

あなたと議会を結ぶ情報誌

ぎのさ

議会だより

平成 29 年 (2017)
発行 / 12 月 8 日

No.125

平成 29 年 第 5 回 9 月定例会・第 6 回・第 7 回・第 8 回臨時会



惣慶の豊年祭の様子

写真提供（池原 望）

目次

- 平成 29 年 第 5 回 9 月定例議会・第 6 回・第 7 回・第 8 回臨時会等の議決結果 2 P
- 平成 29 年 9 月定例会（10 名の議員一般質問） 4 P
- 抗議決議、意見書及び研修会 14 P



■発行：宜野座村議会

■編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座296番地 電話 (098) 968-8326

平成29年 第5回 9月定例議会(9月14日～26日)で決まったこと

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 審議結果 |
|--------|--|--|-----------|
| 議案第37号 | 平成29年度宜野座村一般会計補正予算(第3号)について | 歳入歳出それぞれ4億5千858万8千円を追加し、予算総額75億1千446万6千円とする。 | 原案可決 |
| 議案第38号 | 平成29年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について | 歳入歳出それぞれ7千518万4千円を追加し、予算総額11億3千843万7千円とする。 | " |
| 議案第39号 | 平成29年度宜野座村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について | 歳入歳出それぞれ41万2千円を追加し、予算総額4千278万9千円とする。 | " |
| 議案第40号 | 平成29年度宜野座村水道事業会計補正予算(第1号)について | 収益的支出2億3千324万2千円に、188万8千円を増額、収益的支出額を2億3千5百13万円とする。 | " |
| 議案第41号 | 平成29年度宜野座村下水道事業会計補正予算(第1号)について | 歳入歳出それぞれ143万6千円を追加し、予算総額9千195万2千円とする。 | " |
| 議案第42号 | 平成28年度宜野座村水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について | 決算審査特別委員会にて現場調査、逐条審査、質疑、委員会認定。 | 原案可決及び認定 |
| 議案第43号 | 宜野座村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について | 地方税法の法律等の一部改正に伴い、条例の一部を改正した。 | 原案可決 |
| 議案第44号 | 宜野座村例規集の改版に伴う現行の条例の用語等の整備に関する特別措置条例の制定について | 本村条例に使用している用語等の整備を図るため、特別措置条例を制定した。 | " |
| 議案第45号 | 宜野座村公の施設の指定管理者の指定について | 施設名称：宜野座村観光拠点施設 指定管理者：一般社団法人宜野座村観光協会 期間：平成29年10月1日から平成34年3月31日まで | " |
| 議案第46号 | 宜野座村海洋型健康増進施設機能改善工事(機械設備Ⅲ)の請負契約について | 契約金額：8910万円 契約の相手方：有限会社 盛建設 | " |
| 同意第4号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 氏名：島田忠博(松田区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | 同意 |
| 同意第5号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 氏名：幸喜弘和(宜野座区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第6号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 氏名：當眞和喜(松田区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第7号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：大城悟(松田区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第8号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：久志一(宜野座区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第9号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：平田淳(惣慶区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第10号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：岸本宏和(漢那区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第11号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：玉元紹賢(漢那区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第12号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：仲田順子(宜野座区) 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 同意第13号 | 宜野座村農業委員会委員の任命について | 氏名：嶺井敏男 任期：平成29年10月1日から平成32年9月30日まで | " |
| 報告第9号 | 平成28年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | 実質公債費比率、将来負担比率ともに範囲内。資金不足比率は、水道事業会計、下水道事業特別会計ともに健全である。 | 報告 |
| 報告第10号 | 平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について | 沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告(本村での実施なし) | " |
| 認定第1号 | 平成28年度宜野座村一般会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別委員会にて現場調査、逐条審査、質疑、委員会認定。 | 委員会付託原案認定 |
| 認定第2号 | 平成28年度宜野座村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について | " | " |
| 認定第3号 | 平成28年度宜野座村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | " | " |
| 認定第4号 | 平成28年度宜野座村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | " | " |
| 意見書第4号 | こどもの医療費助成制度改善を求める意見書 | 国・県に対し、地方自治体が行う医療費助成に係る、罰則を廃止するとともに、すべての子どもを対象とする医療費助成制度を創設するよう求める意見書。 | 原案採択 |
| 意見書第5号 | こどもの医療費助成制度改善を求める意見書 | | " |
| 意見書第6号 | 「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限延長に関する意見書 | 駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限の延長を求める意見書。 | " |

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 審議結果 |
|-------|-------------------------------|---|------|
| 決議第3号 | 平成29年度地元産品奨励及び地元企業優先使用についての決議 | 村内及び県産品を優先的に使用し、雇用拡大、経済循環の向上等図り、地域の活性化を推進するため、決議する。 | 原案採択 |
| 決議第4号 | 県産品の優先使用についての決議 | | " |
| 決議第5号 | 議員派遣について | 町村議会議員・事務局職員研修会に派遣。 | " |

平成29年 第6回 10月臨時議会(10月3日)で決まったこと

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 審議結果 |
|--------|-----------------------------|--|------|
| 議案第47号 | 平成29年度宜野座村一般会計補正予算(第4号)について | 歳入歳出それぞれ481万4千円を追加し、予算総額75億1千928万円とする。(衆議院解散に伴う選挙費の補正) | 原案可決 |

平成29年 第7回 10月臨時議会(10月19日)で決まったこと

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 審議結果 |
|---------|-------------------------------|--|------|
| 抗議決議第3号 | 米軍CH53E大型輸送ヘリの不時着炎上事故に対する抗議決議 | 平成29年10月11日午後5時20分ごろ、東村高江の民間地域に不時着し、炎上する事故が発生したことに対する、抗議決議及び意見書 ※P14参照 | 原案採択 |
| 意見書第7号 | 米軍CH53E大型輸送ヘリの不時着炎上事故に対する意見書 | | " |

平成29年 第8回 11月臨時議会(11月2日)で決まったこと

| 議案番号 | 件 名 | 概 要 | 審議結果 |
|--------|---------------------------------|--|------|
| 議案第48号 | 宜野座多目的スポーツ施設建設工事(建築)の請負契約について | 契約金額:3億4千776万円 契約の相手方:㈲盛建設、宜野座建設株JV | 原案可決 |
| 議案第49号 | 宜野座多目的スポーツ施設建設工事(電気設備)の請負契約について | 契約金額:89,964千円 契約の相手方:仲程土建株式会社 | " |

我が村政を問う

9月定例会では、10人の議員が23件の※一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人30分以内で、答弁時間は含まない。質問した議員は自ら原稿をおこし、それを掲載しています。
(1人1ページ)

※一般質問=議員が村の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。議員にとって、住民から関心と期待を持たれる大事な議員活動です。

詳しくは各区公民館、村文化センター図書館に配布される議会会議録又は、村ホームページから、議事録をご覧ください！

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|---|---|---|---|---|
| 伊芸朝健議員 | 安富繁議員 | 照屋忠利議員 | 當眞嗣則議員 | 眞栄田繪麻議員 | 山内昌慶議員 | 浦崎康之議員 | 当真嗣信議員 | 新里文彦議員 | 平田嗣義議員 |
| 一、社会資本の整備と地域振興について 二、県立高校編成整備計画について 三、本村内のリゾート開発事業について 四、宜野座村I.Tオペレーションパークについて 五、農地防風林について | 一、専門的な知識を必要とする職員の配置と職員採用について 二、健長寿の村づくりについて | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について | 一、沖縄県知事へ、ヘリによる低周波影響調査を宜野座村でも実施できるよう要請することについて 二、防犯灯のLED化について 三、松田農村公園への遊具の設置について | 一、ヘリのパイロットに提供施設の内外の認識をさせることについて 二、普天間基地所属のオスプレイがオーストラリア沖で墜落したことについて 三、基地対策協議会の役割について | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について | 一、辺野古新基地建設問題について 二、米軍MV22オスプレイの問題について 三、婦人会活動の活性化について 四、慰靈の塔について |



平田 嗣義 議員

通の課題について要請、協議を行つてゐる。

問 夜間訓練、つり下げ訓練、騒音問題、ヘリの訓練の激化が激しくなつてゐる中で議題として取組ま
れていないが。

三連協の内容

問 金武町・恩納村・宜野座村のキヤンプハンセンの取組は。

答 村長

三町村連絡協議会は、キヤンプハンセンに関する諸問題の内、主に基地被害に関することで共通課題について共同で対処することを目的とし、首長及び議長によって構成された組織。

答 村長
取組まれていらないということではなく、その都度関係機関に要請、改善を求めており問題はない。

問 ヘリが頻繁に訓練している。オスプレイ事故という本来共通課題として地域の安全、地域住民の安全を守る三連協も組織されているが議題としてないのが寂しい。それについて。

答 村長

金武町・宜野座村は、ヘリ訓練

問 基地対策協議会の対応は。
答 村長
平成25年12月の仲井真前知事の辺野古埋め立て承認。平成26年12

月の翁長知事誕生後の埋立て承認取り消し訴訟、現在国と県も係争中で、政治情勢や社会情勢が大変混沌としている状況であり、県と

国家の動向を注視するしかないと考えており、協議会において協議は行つていない。

問 頻繁に研究し、会議も行い村民の意見を聞き、村としてどういう動きがいいか。
答 村長
区長会とか又関係者の意見を聞き、議長・副議長もメンバーなので開催は検討する。

問 頻繁に研究し、会議も行い村民の意見を聞き、村としてどういう動きがいいか。
答 村長
区長会とか又関係者の意見を聞き、議長・副議長もメンバーなので開催は検討する。

辺野古新基地建設

答 村長
地域で訓練の行われ方の違いもある。三連協で議題にするか、金武町・宜野座村の共通課題にするか、両首長と相談して対応する。

聴し必要に応じ協議会を開催したい。平成27年12月に区長会から航空機の騒音被害についての要請があつたが、協議会で審議すればよかつたと反省している。区長会と連携しながら開催も含めて対応する。

村道の整備

問 惣慶待口線11号と佐久田原6号線の整備は。

答 村長

平成28年度に調整交付金事業により実施設計を完了。実施は、平成30年度から32年度まで予定。

問 いい環境整備が出来るよう頑張っていただきたい。

答 村長
交付金の交付期間が終了したこともあり、延長を求めた。訓練が激化したときの演習について改善、流弾事故の原因究明等お互いが共

答 村長
重大事故等が発生した場合、又著しく悪影響を与える基地問題が生じる場合など区長会の意見を挙



新里 文彦 議員

助事業計画導入検討は。

口座からの引き落としに対し、本村の対応は。

答 村長

地域で支えあう体制づくりが一番重要だと思う。医療的な部分と、

平成28年度は14市町村に合計2800万円余りが交付されている。健康教室、健康相談が4市町村、人間ドック等助成事業が5市

町村、はり・灸等利用助成が10市町村となっている。本村はこの補助事業を実施していないが、今後事業導入について検討していく。

答 健康福祉課長

広域連合の方と相談しながら対応していく。

高齢者医療制度

問 保険料軽減が2017年度見直され、5割から2割へ、また均等

割額が9割から7割へ、低所得者の保険料が増加し、高額医療・介護・その施設使用光熱費の負担増について。

答 村長

後期高齢者は年金収入のみの方が多く、今後の生活への影響を懸念し、保険料が上がることを不安に感じる方が多いと思う。制度見直しが今後後期高齢者の生活にどのような影響をもたらすか、村として現状把握に努める。

問

新規の方も現在入っている方もの変動の意味自体わからない。

問 後期高齢者医療制度特別対策補

答

健康福祉課長

直接後期高齢者広域連合から、今年保険料の軽減率が変わるというお知らせをチラシと一緒に後期高齢者の方々に通知を行っている。

問

年金以外に畠の収入、土地売買、いろいろなものが総所得として計算され、変動率について口座から相談なしに差し引かれる。説明の対応は。

答 村長

まだ取り入れてない事業等、財源の分での補助金が導入できるか、前向きに検討する。健康づくり関係についてはキャンプ・ハンセン関係の再編交付金事業などを導入し、他の事業も導入している。総合的にこの事業を導入したほうがいいということであれば取組みたい。

問 後期高齢者医療特別対策補助事業を通して高齢者の安心した生活を守つていければと思うが。

答 村長

社協で地域支援事業などを導入、総合的にお互いが協力しながら、よりよい地域・環境づくりにつながると思っていて。



ささいなことでも相談を！

問 医療適正化事業も合わせて検討し、高齢者の健康を求める、優しい補助事業メニューを導入して健康増進につなげて頂きたい。

問 保険料の納付額が相談もされず



浦崎 康之 議員

入するにあたっての経緯等、メリット・デメリットは。

答 教育長
3年前から計画している。

問 教育長
今年度、野球場及びドームに導入を計画している。経緯は、安定的な財源確保により、継続可能な

施設の運営を行い、民間団体等と共同し、サービスの向上や地域の活性化、スポーツ振興、観光振興を図ることを目的。村側のメリットは、複数年契約することで、施

ネーミングライツ導入

問

スタジアムやアリーナ等の施設にスポンサー企業の社名やブランド名を名称する権利で、命名権とも呼ばれる。アメリカで1990年代後半から広まり、2003年日本では、東京スタジアムに導入すると発表、味の素スタジアムとして5年間12億円の契約で買い取った。県では、那覇市の沖縄セル

ラースタジアム那覇、沖縄市のコザ shin kinスタジアム、国頭村のかいぎんスタジアム国頭などがあり、それぞれプロ野球球団のキャンプ地である。本村でも阪神タイガースキャンプ地となっていることから、ネーミングライツ導入は宣伝効果の高いものだと思う。導

問 導入について検討はいつからか。

メージアップ、スポンサーによる地域社会貢献事業等がある。企業側のメリットは、メディアや看板等で目に触れたり、聞いたりすることで、宣伝効果やイメージ、企業認知度の上昇などが考えられる。

デメリットとして、契約企業が変わるとたびに施設の愛称が変わる為、定着しない可能性がある。また、企業側の不祥事などによりイメージダウン等が考えられる。

問 年間の施設維持費がかかる。ネーミングライツ導入することにより、運営がスマートにでき、よりよい契約ができるようにお願いしたい。

答 教育長
年額500万円以上。3年から5年の契約。愛称に宜野座の文字。看板の作成・設置等は、スポンサー側が行う。細かいことについては協議。

問 教育長
新聞広告、いろいろ広報して今までに間に合うよう事業を推進する。

答 教育長
たくさんのスポンサーが応募し、500万円ではなく1000万円以上の契約ができるよう願っています。



県内最高のグラウンドキーパーによる整備状況！



当真嗣信議員

防犯灯のLED化

問 補助事業で村が設置、維持管理は各区で行っているのが現状。維持管理について、月一基約2千円

程度かかっている。松田区では

146基設置され、月約三十万円

弱で年間三百五十万円程度の支出。

独自で設置した防犯灯は故障時に維持管理のかからない防犯灯に変更支出の軽減化に努めている。し

かし、補助事業で導入した防犯灯

は、故障時に修繕は行うが機能改善することはできなく、維持管理費が負担になっている。防犯灯設置から16年経過しているが、LED化を行う考えは。

① 事業で設置した村内の外灯の

数は何ヶ所か。

- ② 防犯灯の耐用年数は。
③ 防犯灯をLED化に改修する考えは。

答 村長

農村振興総合整備統合事業で186基設置。松田129基、宜野座57基。集落地域整備事業で188基。福山64基、惣慶124基。耐用年数は15年。今後、LED化の事業には多額の費用が掛かる、活用できる補助メニューを検討する。

答 村長

問 将来、各区が維持管理出来なくなつた場合、村がやらなくてはいけなくなる可能性も出てくるので、補助事業を探してできないか。

松田農村公園への遊具の設置

問 村政70周年事業で農村公園へ遊具の設置。漢那リバーパーク整備

事業で観光拠点施設へ大型遊具の設置を進めている。

松田区は、農村公園内に区独自で遊具を設置したが老朽化により使用禁止。現在、鍾乳洞体験、区内散策への入客数が増加し、親子連れも多くなっている。松田区の観光客誘致、PRの為、農村公園の遊具の計画は。



村内子ども達の為、整備が必要！

- 答 村長
松田区の子どもたちの遊具として活用していくこととなると思うので区の方で整備していただきたい。

問 松田区環境整備事業の中に遊具整備を盛り込めるか。

答 村長

環境整備事業の中で整備について検討の余地もある。引き続き協議していく。

LEDのメリット

寿命が長い（蛍光灯の4倍）
電気代が安く省エネ
水銀も未使用なため、環境にやさしい
安定した明るさ
振動や衝撃に強く壊れにくい
紫外線を出さないので虫を寄せ付けず
街灯に向いている。



山内 昌慶 議員

答 村長

頭痛がする。心拍が早くなる。子どもが眠れない等色々な問題があると伺っている。

害は1万人ほどいることも発表している。本村のオスプレイの騒音により、村民がどのようなストレスがあるか。

8

沖縄県知事へ、ヘリによる低周波影響調査を宜野座村でも実施できるように要請

問 ヘリによる低周波影響調査を本村でも実施できるよう要請するこ

答 村長

イラする。頭痛がある。動悸がある。不眠等に陥る問題ができる。防衛局はオスプレイの低周波の物的、

心理的影響を調査したところ、数字を抑えて公表している。防音工事でも騒音についての工事は行なっているが、低周波音についての対策はやられていない。もし、学校等に低周波音があった場合、対応しないといけないと思うが。

ヘリのパイロットに提供施設の内外の認識をさせること

答 村長

人体及び環境への影響を調査することということで国の方に申し入れをしているところ。県と連携をとりながら、村としてできることがあれば協力する。

問 嘉手納の騒音被害について、騒音によって病気をつくることがある。基地周辺の人口でそれに値する方が、心筋梗塞、脳卒中で毎年4人ほど亡くなっている。睡眠障

の判決で米軍機の低周波音が及ぼす心身への因果関係を認定。低周波音を受けることに対する、人体にどのような症状が出ていると思うか。

答 村長

民間地上空の飛行禁止や飛行ルートの確認、パイロットへの教育の徹底など強く要請する。有効な対策がないか関係機関と調整する。

問 ファルコンを民間地に隣接しないよう求め実行させて。

答 村長

民間地近隣のヘリパッド閉鎖を強く求め、今後も引き続き要請していく。

基地対策協議会の役割

答 村長

平成27年度から29年度の現時点まで協議会を開催していない。

問 協議会は機能しているか。

答 村長

県民感情を逆なでし、さらなる反発を生むものであることから、到底理解できるものではない。

普天間所属のオスプレイがオーストラリア沖に墜落したこと



眞榮田絵麻 議員

辺野古新基地建設問題

問

7月24日国に埋め立て工事差止め訴訟と、工事停止を求める仮処分を申し立て、国と県の対立は再び法廷で争うことになった。防衛省は、漁業権を放棄したので岩礁破碎許可は不要と主張。村民の財産、生命、暮らしを守るため、村の立場をどのように注視しているか。

答

村長

地域で繰り返される諸問題に対し、地域を代表する立場として、基地から派生する諸問題の改善、解決に向けて粘り強く行動していく。

問

国・県の動向を注視して判断する答弁はいつまでそういう答弁ですか。

答

村長

行政を預かる者として、常に対応できるよう準備していくことが必要、これからも動向を見ながら対応、いつまでということは申し上げられない。

米軍MVオスプレイの問題

問

村におけるMV22オスプレイの夜間離着陸訓練・つり下げ訓練・騒音被害に対し、議会は7月27日在沖米軍4軍調整官と沖縄防衛局へ抗議。本村は、いつまでも抗議で終わっているが、配備反対は墜落への危機に対し、生きていく上での当然の要求である。金武町との連名で「町村大会」を開催する前向きな考えは。

答

村長

町村大会を開催する考えは持っていない。オスプレイの民間地上空での飛行中止を求めていきたい。金武町の意向は、町村大会の開催を考えていないということで、恩納村も含めた3町村で協力し、オスプレイの飛行中止を求めていきたいとの回答。

婦人会活動の活性化

問

婦人の地位の確立、福祉の向上及び生活課題に資するための学習、社会活動を通して、明るい家庭と住みよい社会づくりに寄与する為の各市町村に婦人会を組織。村婦人会の育成と体制づくりの進捗状況は。

答

村長

平成29年度参加者は95名。うち遺族関係者は20名。遺族の会員が年々高齢化し、減少している中、遺児の方々にも参加を依頼している。

問

教育長

村内の各婦人会会長及び役員数名に集まつていただき、年2回の情報交換、情報共有や勉強会を実施。

問 婦人会が現在まで休会している理由は。

答 教育長

仕事、家事、育児、家族の理解が得られない、多忙な会長並びに役員の職責を果たせない、なり手がないことや、各字の婦人会が円滑に運営され、村の婦人会の必要に迫られていないからである。

慰靈の塔

問

慰靈祭の参加者、ご遺族の実態は。

答

村長

平成29年度参加者は95名。うち遺族関係者は20名。遺族の会員が年々高齢化し、減少している中、遺児の方々にも参加を依頼している。

問

慰靈祭の目的を考えると今までいいか。

答

村長

平和の大切さを後世に継承できるよう、村内小中高の児童生徒の参加、毎年6月に慰靈の塔の清掃を宜小の児童にご協力、各学校持ち回りで千羽鶴奉納と平和の作文朗読を実施。恒久平和の大切さを伝え続けるよう努め、村文化協会、古典音楽界にもご協力頂き、式典前や焼香時の演奏を行っている。

問 慰靈塔の整備、移転を計画しては。

答

昭和36年に建立。平成6年に改修。敷地が狭く、松が多数生えていたため、整備が難しい。今後関係者から意見を聞き、整備又は移転の必要性があるか調査、検討す



當眞 嗣則 議員

ズの多様化により、役場の業務も専門性が求められている。今後もこの傾向が高まることが予想される。農漁業の分野も含め専門職の採用については、検討する。

健康長寿の 村づくり

問 以前沖縄県は、世界的にも注目された長寿県でした。残念ながら

2013年の全国の都道府県別平均寿命で、男性29位、女性3位。県は、機能性食品が豊富。機能性食品を食生活に活かせば、再び日本一の健康長寿県となる可能性がある。本村は、平成22年に宣言し

た「有機の里・宜野座」が農業の大きな柱となることを期待している。野菜、果物、薬草、海産物等、学校給食をはじめ、家庭料理や飲食店などで活用したら、本村の観光振興にも寄与する。国内外からヘルスツーリズムもふえ、6次産業化の振興に寄与することができるのでないか。

本一の長寿県として知られていた。

それを支えていたのが沖縄の伝統的な食文化であつたと言われている。かつての沖縄では、豚肉や豆腐などのたんぱく質をしつかりとりながら、島野菜や海草もよく食べていた。しかし、戦後食の欧米化が進み、生活習慣病の増加が深刻な問題になつている。沖縄の伝統的な食材を食生活に活かせば、本村も健康長寿村になる可能性がある。現在、島野菜などを活用したレシピ集を健診結果説明会や母子保健手帳交付時に配布しているが、今後各家庭や飲食店でも活用してもらおうよう取組んでいきたい。

健康メニューをそろえた食事とついてもくなど既存の施設を活用し、ヘルスツーリズムにつなげていけるような取組をしていきたい。

専門的な知識を必要とする職員の配置と職員採用

問 小学校図書館司書の配置または採用は。

答 村長

本務職員は、生徒数の多い中学校へ配置し、3小学校のうち1校に配置、数年ごとに異動している。図書館司書の配置、採用については、各学校の意見を聞く。職員定数の件もある。

問 農漁業に関する専門分野の大学卒の採用は。

答 村長

国や県から権限委譲や住民二一人

問 県は、長年にわたり男女とも日

本務職員は、生徒数の多い中学校へ配置し、3小学校のうち1校に配置、数年ごとに異動している。図書館司書の配置、採用については、各学校の意見を聞く。職員定数の件もある。

問 農漁業に関する専門分野の大学卒の採用は。

答 村長

国や県から権限委譲や住民二一人

有機の里・宜野座

本村では、安心・安全な農産物の生産をめざして、有機の里づくり宣言をした。その手始めにエコファーマーの認定を増やす取組を行っている。現在北部で認定農家は、50名程いるがその内、28名が本村の農家である。

家庭菜園コンクールは、エコファーマーを増やす為のイベントで、上位入賞者を村産業まつりで表彰している。



照屋 忠利 議員

宜野座村ＩＴ オペレーションパーク

問

宜野座村サーバーファームは、平成14年3月に開所、新たな産業

の一つとして情報通信産業系企業の誘致を目的にデーターセンター、新規オフィス業務対応施設とし、新規

企業の進出支援、雇用機会の創出、人材の集積による地域活性化を目的に建設された。730台分の駐車場が完備、当初は駐車車両が多く活気があつたが、現在は少なく心配している。

- ① 当初の入居企業数、社員数、現在の入居企業数、社員数。
② 企業誘致活動の状況。

答

村長

当初、入居企業数6者、社員数111名。ピーク時平成17年度、

入居企業6者、社員数499名。現在、入居企業8者、社員数291名。企業誘致活動の状況は、他市町村において類似施設の建設や、若者のＩＴ産業への人材不足で大変厳しい状況。第一サーバーファーム9室中1室、第2サーバーファーム8室中6室の空きがある。

昨年、一括交付金を活用し大阪、東京等で企業誘致セミナー、招聘ツアーを実施。ＩＴ産業関係の若者離れが県全体の課題となっていることから、人材育成事業として名桜大学で特別講義や村内小学校でＩＴ啓発プログラムを実施している。

答

村長

- 問 現在少なくなつた原因は。
希望は。

I IBMが撤退した事が大きな要因。

答

村長

現在少なくなつた原因は。

答 村長

防風林施設の工事箇所は、松田東地区、松田西地区。松田東地区は、小字で前原、サーア原、布流石原、太田原、平成25年度で完成。

フクギ2261本、サンダンカン4460本、テンニンカ4256本。松田西地区は、小字で志利川原、高松原、松田原、平成27年度に完了。フクギ1413本、サンダンカン1723本、テンニンカ2750本、50センチ間隔で植栽。

農地防風林

問

農地防風林は台風や強い季節風から農地と農作物を守り、土砂流出防止や農村景観の役割を果たしている。松田地区では、防風林施

設設置工事が行なわれているが、管理はどうなつていてあるか。

- ① 工事箇所と作付け樹木の種類
② 定期的な管理は何処が行つているか。

二など近くに商店等もないといふ声もある。

農村景観として、管理をしっかりとやってもらいたい。そこを散策したら、本当にいい気持で心が癒されてると思う。

問

農村景観として、管理をしっかりとやってもらいたい。そこを散策したら、本当にいい気持で心が癒されれると思う。



松田地区 適切な管理が必要！

要がある。



安富繁議員

問 宜野座高校の現状は、計画指針と比べてどうなっているか。

答 教育長

平成6年度村当局により、宜野

座高校を支援する懇話会を発足し、

平成18年度に特進クラスと進学支

援センターの設置に至っている。

文武両道の校是のもと、国公立大学合格者の輩出や部活動による学校活性化等、順調に成果をあげている。

問 宜野座高校存続のためにあらゆる方策が必要と思うが、実効策は。

答 教育長

中学生が魅力を感じる高校は、

進学と部活動である。村営学習塾

「21世紀みらい」その魅力を広く

発信し、国頭一の進学クラスにし

たい夢を持っている。また、本村

の体育施設に恵まれた環境を活か

し、中南部から流入する生徒募集

最も定員割れの少ない学校となっ

ている。国頭地区の全高校の入学

生の状況は200名の定員割れと

なつており、今後対策を講ずる必

問 今計画が平成24年度にスタート

して5年経過しているが、北部地域の教育環境及び各高校の現状はどうなっているか。

答 教育長

宜野座高校は定員120名に対

し119名で、国頭地区において

最も定員割れの少ない学校となっ

ている。国頭地区の全高校の入学

生の状況は200名の定員割れと

なつており、今後対策を講ずる必

県立高校編成整備計画

問 宜野座高校の存在について。

答 教育長

宜野座高校の存在は偉大で、総

合的に価値の高いもの。村の活性化及び発展に必要不可欠。

問 宜野座高校の存在について。

答 教育長

中学生が魅力を感じる高校は、

進学と部活動である。村営学習塾

「21世紀みらい」その魅力を広く

発信し、国頭一の進学クラスにし

たい夢を持っている。また、本村

の体育施設に恵まれた環境を活か

し、中南部から流入する生徒募集

最も定員割れの少ない学校となっ

ている。国頭地区の全高校の入学

生の状況は200名の定員割れと

なつており、今後対策を講ずる必

本村内のリゾート開発事業

問 事業ごとの規模、事業場所、面積、建物面積、部屋数、収容客数。

事業の協議・調整状況、事業の着手年度は。

答 村長

現時点でのリゾート開発の相談箇所は、着工しているものも含め6件。松田地区の1件目は、H社により、松田布流石原に既に着工している事業で、事業面積2万1787平米、建築面積2509平米、

部屋数ホテルタイプ10室、連棟ヴィラ4室、ヴィラ5室、合計19室。収容人数は、未確認。平成30年7月中にオープン予定。2件目は、松田太田原で、P社がリゾート開発計画を進めていると、社長と設計事務所の方が来村し、規模については検討中。3件目は、国際交流村付近で、U社、S社、A社が許可申請について県と調整中で詳細の説明はまだ受けてない。惣慶

道路構造等について。

宜野座村西部地区幹線道路整備事業

問 事業採択の決定の状況、事業の工期、ルート、道路延長、幅員等

答 村長

県と沖縄総合事務局へ要望して

いる。概略設計のルート案が絞り込みつつあるが、具体的な事業の

採択時期や工期、ルートについて

決定はまだされていない。

200室のホテルを計画。現在概略設計を作成中。松崎原については、地主を含め、数社から開発が可能かどうかの打診があつた程度。

問 事業による本村のメリット。



伊芸 朝健 議員

置の必要性はない。

問 國際交流村について。

で活用できいか検討する。

問 農業大학교の誘致は。

答 村長

県から正式な発表や現段階においても建設場所は、判明していない。県公共施設等の総合管理計画の中でも進展はなく今後も誘致活動を継続していく。当初の要請で恩納村も手を挙げていた経緯もあり、3町村の三連協で要請は必要ない。

答 村長

有効活用を図るため、平成26年3月31日付け、国際交流村管理運営規則を制定し、交流村運営協議会を設置。平成26年度中に3回の協議を開催。同年7月に当時の土地所有する企業から更地に戻す現状復旧での返還を求められ、施設活用を断念。取り壊しの予算を計上。その後所有者が変わったため、新しい所有者と国際交流センターについて協議し、現状として取り壊しはしない。

問 鉄軌道について。

答 村長

答 村長

問 惣慶メーヌ浜の護岸工事着工について。

答 村長

答 村長

答 村長

県道漢那松田線の漢那区側の終点を延長し、城原区を結び、県道104号線に接続する路線を県道事業として、県側もこのはしご道路の重要性については十分認識。

県のモノレール事業が平成30年度に一段落することで、その後この道路の整備事業を加速化。現在金武町と情報の共有、事務レベルでの意見交換を行つており、本事業は事業主体が県で、恩納村側から県道104号線の拡幅工事のみで現段階では3町村の対策委員会設

答 村長

平成29年8月18日に県庁で第6回沖縄県鉄軌道計画検討委員会が開催され、7つのルート案が提案されている。試算結果や委員会での専門家の意見も踏まえ、今年度内にルート案が決定する方針。村の取組として、平成26年8月1日、金武町長と合同で鉄軌道ルートについて要請を行つている。平成28年11月30日の村商工会、金武商工会で鉄軌道ルートに関する要請を行つてている。



早期の護岸工事が必要！

怒り心頭

米軍CH 53 E大型輸送ヘリの不時着 炎上事故に対する抗議決議、意見書



意見書を手渡し抗議する村議會議員

日時：平成29年10月24日（火）

場所：沖縄防衛局 11:00～

中嶋浩一郎局長

平成29年10月11日午後5時20分ごろ、CH 53 E大型輸送ヘリコプターが、東村高江の民間地域に不時着炎上する事故が発生した。米軍機に関する事故は、これまで枚挙にいとまがないほど発生しており、村でも平成25年8月に墜落事故を起こし、村民に恐怖を与えていた。宜野座村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活環境を守る立場から、沖縄防衛局へ意見書を手渡し、抗議決議を関係機関へ送付した。

抗議決議送付先：在日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在沖米四軍調整官、

意見書送付先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長

町村議会正副議長・正副委員長研修会

日時：平成29年8月8日（火）

場所：ちゃたんニライセンター

講師：喜舎場健太氏（沖縄県子ども未来政策課長）

『沖縄の子どもの貧困問題の解消に向けて』

新川達郎氏（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授）

『災害時における議会の役割・対応』



町村議会議員・事務局研修会

日時：平成29年10月12日（木）

場所：NBC サムシング・フォー西崎

講師：謝花喜一郎氏（沖縄県知事公室長）

『日米地位協定の見直しに関する要請について』

田口一博氏（新潟県立大学准教授）

『議会力アップについて』

町村議会議員・事務局職員 研修会



12月定例会は12月13日(水)からの予定です。

みんなで議会を傍聴しよう。いこうよ！みようよ！考えようよ！



議会広報調査特別委員会

議長 小渡久和

委員長 真栄田絵麻

委員 照屋忠利

副委員長 平田嗣義

委員 新里文彦

以上のメンバーで議会だよりを編集しています。